



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分：少年男子 準々決勝
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：11:55

GAME No. 1003F2

主審：石黒 勉
 副審：三好 啓太

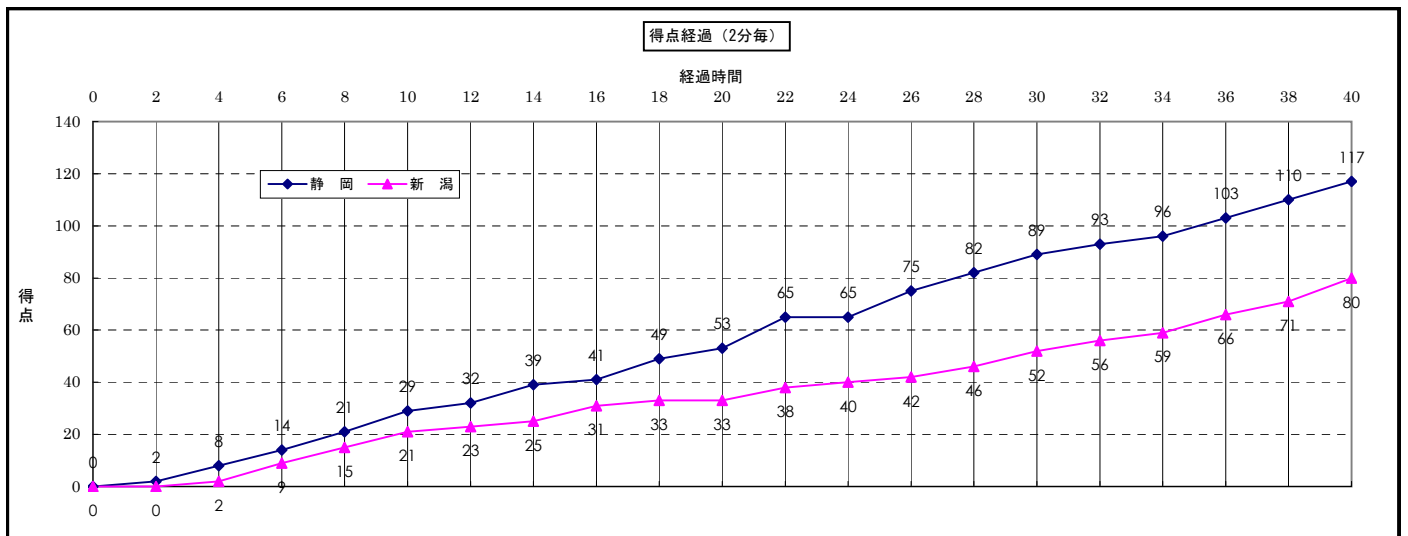
Team A	○	29 -1st- 21 27 -2nd- 12 33 -3rd- 19 28 -4th- 28	●	Team B
静岡	117		80	新潟

TEAM A		静岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	藤井 祐真	34	6	5	6	2
5	*	羅 中杰	11	0	5	1	0
6	*	永井 裕也	6	1	0	3	2
7	*	鈴木 友貴	21	4	3	3	1
8	*	古本 樹	10	0	5	0	1
9		張 曉博	3	0	1	1	3
10		石川 琢巳	5	1	1	0	1
11		古橋 広樹	5	0	2	1	1
12		曾根 秀介	6	0	3	0	1
13		大澤 歩	2	0	1	0	2
14		大野 陽平	7	1	1	2	1
15		金子 大斗	7	0	3	1	3
Coach		大橋 俊					0
TOTAL			117	13	30	18	18

TEAM B		新潟					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	田中 成也	21	3	4	4	1
5	*	新保 寛人	15	2	3	3	5
6		見田 直人	3	0	0	3	1
7	*	高橋 幸大	0	0	0	0	3
8	*	小野寺 弘晃	19	0	9	1	3
9	*	赤塚 素也	8	0	4	0	4
10		田村 亮	6	0	3	0	1
11		高澤 大貴	5	0	2	1	2
12		曾我 洸樹	0	0	0	0	0
13		千葉 広靖	3	1	0	0	1
14		金田 敦之	0	0	0	0	0
15		中村 博	0	0	0	0	0
Coach		佐藤 正					0
TOTAL			80	6	25	12	21

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	12:21	15:18	25:00	35:26 38:54		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、静岡はマンツーマンディフェンス、新潟は2-3ゾーンディフェンスでスタート。静岡は#7鈴木がミドルシュートを決め、先制点を奪うとその後もゴール下で得点を重ねる。対する新潟は3Pを狙うがごとく外れ、開始3分で6-0と苦しい展開となる。しかし、#5新保がオフェンスリバウンドからファールを誘い、フリースローでようやく得点すると、その後は両チームとも一進一退の攻防を続ける。新潟は終盤#9赤塚がゴール下で踏ん張り、連続得点するが、静岡も終了間際に#5羅がゴール下で得点し29-21の静岡リードで1Qを終える。

2Q、序盤、新潟はなかなか得点できず開始2分タイムアウトをとる。この直後静岡はディフェンスを変え2-2-1ゾーンプレスとし、オールコートでプレッシャーをかける。新潟はボール運びに苦しむ一方、静岡は#7鈴木などがスティールから得点を重ねる。新潟も#4田中が3Pを2本決め対抗するが残り4分で44-31と点差を広げられてしまう。主導権を握った静岡はその後も得点を重ねる。静岡は#4藤井が速攻や3Pなど、このQだけで15得点し、前半は56-33の静岡リードで折り返す。

3Q、序盤、静岡は#11古橋、#7鈴木が得点する。一方新潟も#8小野寺が速い展開から積極的に1対1を仕掛け得点。お互い譲らず開始4分で65-40となる。しかし、この後新潟は#9赤塚が4つ目のファールを犯し交代してしまう。その直後静岡は#12曾根がゴール下で得点。リバウンドでも静岡が優位に立つ。残り1分新潟は#6見田などが積極的にオフェンスリバウンドに飛び込み得点するが、89-52とリードを広げられ3Qを終えた。

4Q、中盤、新潟は#13千葉、#5新保が3Pを3連続で決める。対する静岡は#15金子らがリバウンドから得点を重ねる。終盤新潟はオールコートプレスでプレッシャーをかけ、残り2分で9得点し、地元の声援に応える。このQを同点とした新潟だったが、終止リードした静岡が117-80で勝利を収めた。

記載責任者 森山 勇也 (所属) 新潟県バスケットボール協会